

硬筆指定課題 評価の観点

《小2》 大平恵理 書

はじめに、しせいとえんぴつのもち方をたしかめます。
正しく書けているか、ととのって書けているか、がたい
せつです。「止め・はね・はらい、せんの長さ」とむき、あき、
おれ、おりかえし、まがり、そり、せんとせんのつき方と
交わり方、ひつじゅん、外形」にきをつけて書きましょう。
てほんの文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

○

広いあき
せまいあき

●

同じ広さの
あき

○

ちゅうい
するところ

□ △

外形

↗

長さ

↘

むき

⋯

まがり

せつめいの
きごう

下へながく かどばらない 右上に はらう	みじかくそろえ てひく そろえる	つける かどばらない 止める	
おなじく はらう ななめに ながく	はらう はんぶん のたかさ	みじかくそろえ てひく 止める	
出す	ながく 止める まっすぐ下へ ながくひく	ながく みじかくそろえ てひく そろえる	
	つける かどばらない 止める	おなじく はらう 止める	
	みじかくそろえ てひく まんなかより左	みじかくそろえ てひく 止める ふかくお かえす	
※次のむすび方でも よい。「ま」	右上がり にそろえる	せをひく	